

推薦：(財)全日本交通安全協会

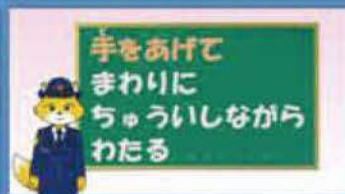
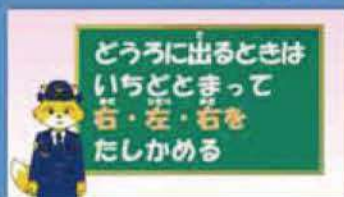
交通安全教育アニメーション

幼児・小学校低学年向け

【DVD・カラー・15分】

サル太郎は とびださない!!

ほ こう しゃ じ てん しゃ
歩行者・自転車のこうつうルール



企画意図

子供の交通事故は歩行中、自転車乗用中に多く発生しています。

その原因は、道路への急な飛び出しや、駐車・走行車両の直前・直後の横断、信号無視、自転車乗用中の安全確認や一時停止の怠りなど。

子供の交通事故の多くは、本人の交通ルール違反が原因で起きています。

そこで、このアニメーション作品では、子供たちに道路には様々な危険があることを理解させ、交通ルールをきちんと身につけることが大切であることを訴えるものです。

映学社・リバティシップ作品

作品の概要

どうぶつ村の小学校では連休を前に、タヌキ校長先生が全校生徒に向かって話している。

「明日から連休です。休みになると交通事故にあう子供が増えるので、充分注意してください!」

■子供の交通事故で一番多い原因は「とびだし」

下校途中のサル太郎と友だち。保育園の前を通りかかる。と、サル太郎の妹の姫子が園庭で遊んでいるのに気づく。嬉しくなったサル太郎は、突然、車道に飛び出し「あっ!危ない!」それにびっくりした姫子も思わず車道に飛び出し「あっ!危ない!」二人とも、もう少しで交通事故にあうところだ。

そこでキツネの女性警察官が、サル太郎たちを安全な場所へ誘導して交通ルールを教える。

「道路への飛び出しは絶対ダメ!どうしても渡るときは、右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が来ていないかどうかを、よく確かめてから渡るのよ。」

■横断歩道を利用しよう! 信号を守ろう!

公園で友だちとラジコン飛行機を飛ばしていたサル太郎と姫子。突然ラジコン飛行機が墜落してしまう。サル太郎は公園脇の道路に墜落した飛行機を拾おうと夢中になり、またもや道路に飛び出し「あっ!危ない!」急ブレーキの運転手から怒られるサル太郎。そこで女性警察官が登場し、「どんな理由があっても道路に飛び出しはいけないこと」「道路を安全に横断するには横断歩道を渡ること」そして「横断歩道の正しい渡り方」などを教えていく。

■守ろう!自転車の交通ルール

お父さんと隣町まで自転車でパンを買いに行くことになったサル太郎と姫子。ヘルメットをかぶって、さあ出発。お父さんを先頭に一列で自転車を走らせていた三人。「ねえ、お父さん!」サル太郎は、お父さんと話そうと、ウッカリお父さんの横に並んでしまう。後ろから来た車が急ブレーキ!お父さんはサル太郎たちに「自転車は並んで走ってはいけない」「自転車では競争もダメ、二人乗りも禁止」というルールを教える。

パン屋が見えてきてサル太郎は大喜び。交差点を

止まらずに渡ってしまう。またまた車が急ブレーキ。お父さんは「交差点では必ず一時停止後、右、左、右、後ろを確認してから渡ること」などを教える。

■ヘルメットをちゃんと被らないのは大怪我のもと

パン屋さんで美味しそうなパンを買った三人、帰り道は大きな通りに出て帰ることにする。と、目の前に舗装されていない砂利道が現れ、サル太郎は転倒。顎紐を留めていなかったため、ヘルメットがはずれ、頭に砂利が刺さり、泣きじゃくるサル太郎。「ヘルメットは正しくかぶり顎紐を結ぶ!」と教わる。

■子供が歩道を自転車で行く時のルール

車が行き交う大きな道路。こういう交通場面では子供の自転車は歩道を走ることができる。でも歩道では、どのコースを走ったらよいのだろう。お父さんからクイズを出されるサル太郎と姫子。質問に答えながら、「歩道では車道よりを走る」「すぐに止まれるスピードで走る」「歩行者がいたら一旦停まる」など、歩道を走る時の交通ルールを色々と学んでいく。

推薦 財団法人 全日本交通安全協会

企画・制作 高木 裕己/藤井正和

脚本・監督 高木 裕己

絵コンテ・コンポジット:佐藤豊/原画:菊田武勝/音楽:加藤由美子/効果:島田高史/歌詞:高木裕己/動画:生井智子・黒川富沙子・白田由香・吉野里枝・松岡香織/背景:平林亮/彩色:伊勢智寿美/本編集:正者章子

制作・著作 株式会社映学社
株式会社リバティシップ

■DVD[カラー・15分]

■ライブラリー価格 ¥65,000円+税

■学校価格 ¥33,000円+税

・2011年・映学社・リバティシップ作品